

植村冒険館25周年記念講演会

入場  
無料

定員1,200名  
(申込み順)

# 夢枕 獏

# 「生きることは 冒険だ」



【写真=夢枕獏事務所】

平成29年

# 11月20日[月]

18時00分～19時45分(開場17時30分)

## 板橋区立文化会館大ホール

(東京都板橋区大山東町51-1)

【会場のご案内】東武東上線大山駅より徒歩7分

都営三田線板橋区役所前駅より徒歩7分

### ▽プログラム

17時30分 開場

18時00分 開演 主催者あいさつ

18時10分 映像上映『植村直己の足跡』30分

18時45分 記念講演会

夢枕獏「生きることは冒険だ」

19時45分 終演

\*上記プログラムは予定です。予告なく変更することがあります。

### 申込み方法

はがき、FAX、Eメールで

①「記念講演会申込み」 ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名(ふりがな)をご記入のうえ、植村冒険館までお申し込みください。

\*1通で4名まで申し込めます。②③④を人数分ご記入ください。

(住所が同一の場合は④のみ記入)

\*お申し込み到着後、10日程度で入場券を郵送します。最終発送日は11月9日(木)です。

入場券がお手元に届かない場合は11月15日(水)までにご連絡ください。

### 申込み締切

平成29年11月8日(水)必着 (定員に満たない場合は随時受付。お問い合わせください)

### 送付先

【はがき】

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-21-5 植村冒険館 記念講演会係

【FAX】

03-5994-4916

【申込み受付専用アドレス】

kinen@uemura-museum-tokyo.jp

\*受信後、自動返信で確認メールをお送りいたします。下記のアドレスを受信できるよう、あらかじめご自身の機器を設定してからご送信ください。機器の「着信拒否の設定」もご確認ください。(確認メールのアドレス)kinen@uemura-museum-to.sakura.ne.jp

\*確認メールが届かない場合は受付が完了していません。確認メールが届かない場合は、はがき・FAXでお申し込みください。

▽主催・お問い合わせ



## 植村冒険館

公益財団法人植村記念財団

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-21-5

TEL.03-3969-7421 FAX.03-5994-4916

ホームページ:www.uemura-museum-tokyo.jp

10時～18時 月曜休館

\*11月20日(月)は植村冒険館は休館日です



## ゆめまくら ぼく 夢枕 獯

神奈川県小田原市在住  
昭和26年(1951年) 神奈川県に生まれる。  
昭和52年(1977年)SF文芸誌「奇想天外」に「カエルの死」が掲載されプロ・デビュー。以降「キマイラ」「サイコ・ダイバー」「闇狩り師」「餓狼伝」「陰陽師」などのシリーズ作品で、若い読者を中心に支持を集める。

### 略歴＝

- 平成10年(1989年)「上絨の月を食べる獅子」で日本SF大賞受賞
- 平成18年(1998年)「神々の山嶺」で柴田錬三郎賞受賞
- 平成23年(2011年)「大江戸釣客伝」で第三十九回泉鏡花文学賞／第五回舟橋聖一文学賞
- 平成24年(2012年)「大江戸釣客伝」で第四十六回吉川英治文学賞受賞
- 平成25年(2013年)「陰陽師 瀧夜叉姫」が新・歌舞伎座での初めての新作歌舞伎として上演される
- 平成28年(2016年)「神々の山嶺」を原作にした映画「エヴェレスト 神々の山嶺」が公開される。
- 平成29年(2017年) 作家デビュー四十周年を迎えた。

### 【主な映像化作品】

- 「陰陽師」2001年4月～6月 NHK総合 全十話 出演:稲垣吾郎ほか
- 「陰陽師」2001年東宝 監督:滝田洋二郎 出演:野村萬斎ほか
- 「エヴェレスト 神々の山嶺」2016年東宝 監督:平山秀幸 出演:岡田准一ほか
- 「空海 KU-KAI」2018年公開予定 監督:チエン・カイコー 出演:染谷将太ほか



2015年 映画「エヴェレスト 神々の山嶺」撮影隊と合流するため、エベレスト・ベースキャンプへ【写真=夢枕獯事務所】

プロ・デビュー前の23歳の時に初めてヒマラヤを訪れる。平成9年(1997年)に「神々の山嶺」を上梓。世界最高峰エベレストの南西壁単独登山に執念を燃やす男の生きざまを描いた作品で、先鋭的な登山に挑む登山家の姿とその心情を伝える描写は緻密で生々しく、登山とは縁のなかった読者にも鮮烈な印象を与える話題作となった。

平成27年(2015年)にこの作品が映画化されることになり、同年3月には映画の撮影隊を激励するため、プライベートな仲間たちと撮影現場であるエベレスト・ベースキャンプを訪れた。20年ぶりのヒマラヤで高山病に苦しめられながらもカラパタル(5500m)への登頂も果たした。

## 植村 冒険館

板橋に暮らし、ここから数々の冒険へと旅立っていった冒険家・植村直己はその生涯にわたって人間の可能性に挑み続けました。板橋区は植村さんのご家族から約1500点におよぶ資料の寄贈を受け、1992年(平成4年)に植村記念財団を設立しました。財団では、どのような状況におかれても人間らしい豊かな心で最善の努力をする冒険精神を伝えるために、彼の冒険を紹介する企画展示や自然を体験する事業を行っています。



## うえむら なおみ 植村 直己

1941年(昭和16年)兵庫県生まれ。明治大学入学と同時に山岳部に入り本格的な登山を始める。1964年から約4年にわたり外国を放浪。モンブラン、キリマンジャロ、アコンカグアに登頂。1970年日本エベレスト遠征隊に参加し、日本人として初めてエベレストに登頂。続いてマッキンリー(現・デナリ)に登り、世界初の五大陸最高峰登頂者となる。

1972年単身でグリーンランド最北の村に入り、約10ヶ月間暮らして犬ぞりを覚える。1976年春には北極圏1万2千キロの単独犬ぞり走破を達成。1978年世界初の北極点単独到達、グリーンランド縦断を成功させた。

1982年南極大陸横断を計画するがフォークランド紛争の影響で断念。1984年2月世界初の厳冬期マッキンリー単独登頂を果たすが下山中に消息を絶つ。4月国民栄誉賞受賞。

【写真=文藝春秋】

### ホームページ

[www.uemura-museum-tokyo.jp](http://www.uemura-museum-tokyo.jp)

### 展示室

年4回程度テーマを替えて、植村直己の冒険を紹介する企画展示を開催しています。毎年2月は、最後の冒険になってしまった厳冬期マッキンリー登山にちなみ、「メモリアル展」として山中で発見された最後の装備を公開しています。



### 情報コーナー

冒険・探検、登山、アウトドアに関する書籍を集めた「冒険図書館」です。他の図書館ではなかなか見あたらない、この分野の本があります。自由に閲覧でき、一部貸出も行っていきます。(住所が確認できるものをお持ちください。貸出カードの発行手数料=200円)



- 所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5
- 電話 03-3969-7421
- 開館時間 10時～18時(展示室への入館は17時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12月29日～1月4日)
- 入場料 無料

### 交通のご案内

- 都営地下鉄三田線 蓮根駅下車 徒歩5分
- 東武東上線成増駅北口・JR赤羽駅西口よりバス(国際興業バス) 志村健康福祉センター入口停留所下車 徒歩5分